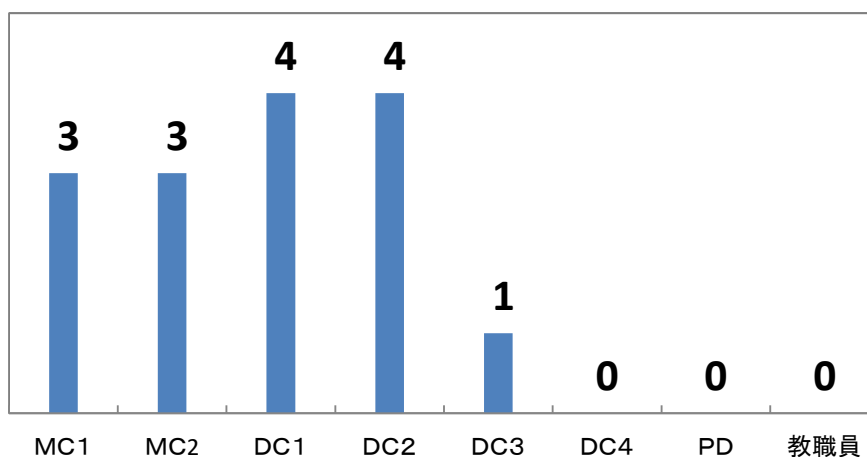


# 2019年度博士インターンシップ報告会・内定者との懇親会アンケート

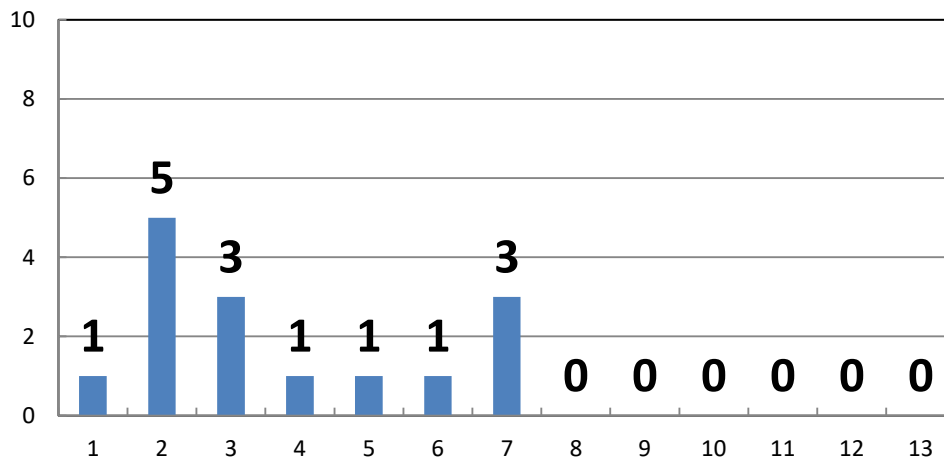
回答者数: 15名 ※内定者を除く

## 学年

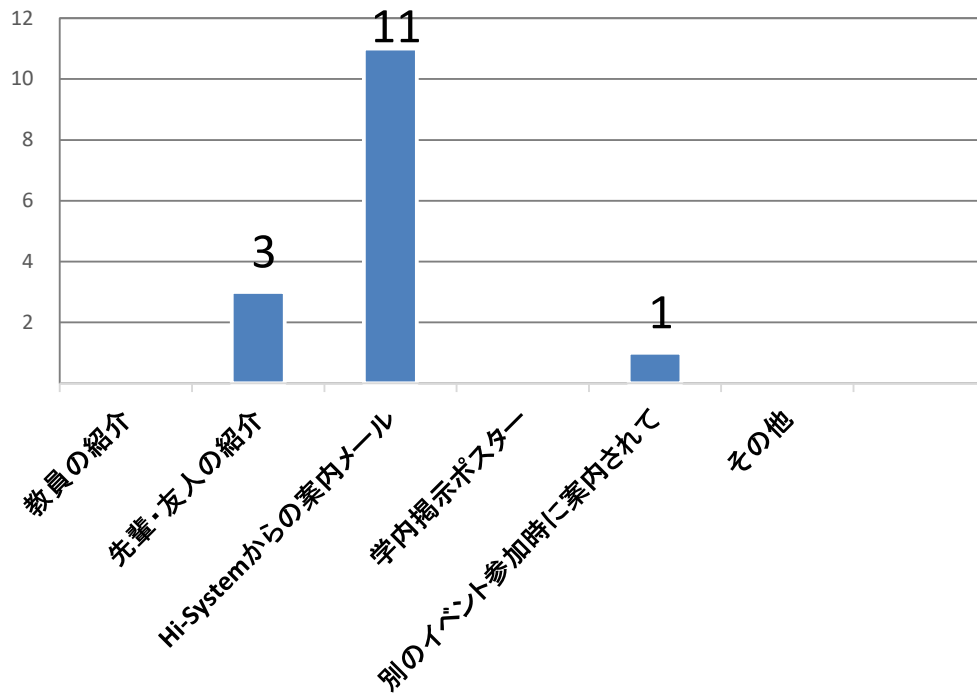


## 所属

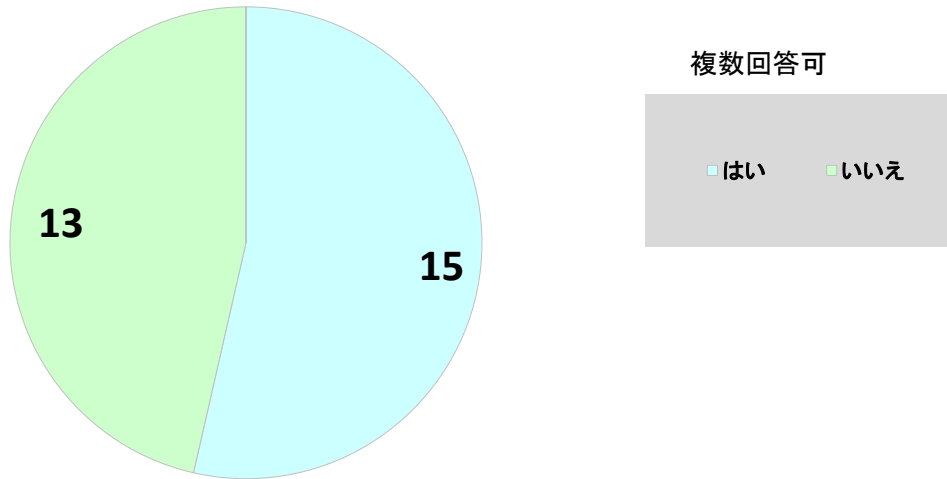
1. 理学院/理学研究院
2. 生命科学院/先端生命科学研究院
3. 農学院/農学研究院
4. 工学院/工学研究院
5. 環境科学院/地球環境科学研究院
6. 情報科学研究科
7. 総合化学院
8. 水産科学院/水産科学研究院
9. 医学/歯学/薬学/保健科学
10. 獣医学研究科
11. 保健科学院
12. その他
13. 未回答



[1] 参加のきっかけを教えてください



**[2] インターンシップを希望されますか？**



**[3] [2]で「はい」と答えた方に聞きます。希望する分野・企業名をご記載ください。**

1	バイオ系もしくは化学系
2	医療機器メーカー、自動車メーカー、重工など・島津製作所
3	植物を扱う分野、動物を扱う分野、生態調査などを扱う分野、病原体を扱う分野などがあれば行きたいのですが具体的な社名が分からないので相談させていただきます。

**[4] [2]で「いいえ」と答えた方に聞きます。インターンシップへの障害は何ですか？**

1	赤い糸会に参加して、企業の人と話してから決めたいと考えています。
2	まだわからない、行ってみたいと思う企業があったら行きたい
3	長期間のラボ不在は厳しい環境にあるのと、志望する業種は選考自体が始まっているものもすでにあるため。
4	就職活動が始まるため。
5	今からだと時間がないかもしれないです。もっと早く(1年前から)行動しておくべきでした…
6	どんな分野や企業があるのかまだわからないので、まず調べようと思います。
7	単に今はインターンシップの企業を調べていないため

[5] 第一部「博士インターンシップ報告会」へのご意見・ご感想をお願いします。

1	タイプの違う3人が話してくださったため、自分にマッチする部分を取り入れていこうと思いました。
2	博士のインターンについて、実際の内容やスケジュールを知ることにより、これまでふわっとしたイメージでしたが、具体的に、自分自身のパターンを想像することができました。 また、業種・企業により、スキルやインターンの目的にかなり差があることを知れたため、インターン企業の選択の際の基準の1つになると感じました。
3	博士のインターンシップにイメージが全くなかったのですが、具体的にお話を聞いてとても参考になりました。
4	博士の就活については右も左もわからない状態だったので、お話一つ一つがとても参考になりました。
5	インターンシップの実情が学生側の目線から聞いてよかった。ただ、バックグラウンドが大きく違う先輩の発表に対しては質問しづらかった。
6	博士インターンシップが内定に直結した例、直結しなかった例を聞いて参考になりました。
7	インターンシップに参加する意義や感想等を三者三様に伺うことができ、大変為になった。後輩でインターンシップについて悩んでいる、就職活動についてビジョンが立たない等の人がいれば積極的に参加を勧めたいと思う。
8	インターンシップを経験した他の方がインターンシップを通じて何を学んだのかを知ることができた。自身のインターンシップの経験と重なるところもあれば異なるところもあり新たな視点を得られた。
9	インターンは選考に直結するものだと思っていましたが、そうでない場合もあることを知ることができました。インターンにはもっと関心を持って積極的に参加を考えておくべきでした。
10	自分は修士課程に進学するときには研究者として生きていこうと考えていましたが、博士課程の先に何かあるのかいまいちイメージがつかめず不安だったので今回参加しました。ですので発表を聞くまで自分は「インターンとはなにか、どうして受けるのか、どういう流れで就職するのか」がわかっていなかったため、発表者の方がインターンを受けるに至った経緯からそこから学んだことまで話してくださって非常に勉強になりました。もし博士課程に進んでも自分の適性や目標について考えることで就職先は見つかるのかもしれない、といいイメージを持つことができました。質問時間も十分だったと感じました。座談会も懇親会のようにうるさくなりすぎず、振り返ってみたら話しやすいいい機会でした。 ただ多くの方が純粋に研究が好きで、博士課程まではポスドクに進むつもりで進学し最終的に研究職につく、という印象だったので、そこは今の自分と違うなと思いました(それもいい発見でした)。ですので異分野といいますが、研究職につかない方のインターンや就活の話も聞けたらなと感じました(ただ懇親会で別の方から聞いたのでそれは良かったです)。
11	(人材育成本部を通した)博士インターンについて、内容や報告者の感想が知れたので参加してよかったと思います。
12	異分野の企業でもインターンシップができて、異分野も就職先の選択肢にあるということを知れてよかった。
13	現在はM2だが、博士になったらいち早くインターンシップの機会を作りたいと思った。
14	博士のインターンシップ、就活、研究のつながり、日程などがわかり、とても参考になった。

**[6] 第二部「内定者との懇親会」へのご意見・ご感想をお願いします。**

1	当たり前ですが、一人一人異なる就活をしているため、人の数だけの就活話が聞けたので、楽しい上にタメになりました。
2	色んなバックグラウンドで色んな就活をされた方のお話を聞いて、漠然と不安を抱いていたものに少しイメージがつかめるようになり、これからの指針になりました。ありがとうございました。
3	私は学部で獣医学部を出て、現在植物の研究をしておりますので、獣医の先輩と、理学系の先輩のお話の両方が聞けたことはすごく勉強になりました。
4	時間が短く感じた。赤い糸会に参加するか迷っていたのだが、先輩方に参加を後押ししてもらえて気持ちが固まった。
5	実際に自分が希望する業種、企業の内定者の方とお話ができ、企業サイトビジットでの注意点も聞いて大変参考になりました。
6	内定者に私の志望する業種の人がたくさんいたため貴重な話を多数伺うことができ、大変有意義な時間だった。
7	電機メーカーのインターンシップを経験した方からも話を聞くことができ、有意義な情報を得ることができた。
8	本当にありがたい企画でした。就活を超えた先輩の経験談は不安に感じていたこと、疑問に思っていたことにクリティカルな解決策・答えをくださいました。
9	他の方のお話も聞けたので良かったです。より近い専門分野、考えの方と話せたので、すごく有意義でした。
10	普段自分の研究室以外の博士学生と話すことが少ないので、現在修士課程の私にとって、インターンシップに限らず様々なことを直に聴くことができたり、コネクションを作ったりする貴重な機会となりました。
11	博士での企業就職についての先輩方の実際の話を知ることが出来て、博士課程進学により前向きになった。
12	具体的な博士の就活の流れがわかりとても良かった
13	時間の都合で参加できなかったので、感想等はなし

**[7] 就職について相談したいことはありますか？**

1	自分に合った就活の仕方というのは、様々な準備をして実際に面接をして学んで分かる事だと思いますが、その頃にはもう遅くて第一志望で失敗してしまったという例があると思います。そうした失敗をしないために、かつ自分にマッチした就活を探すにはどうしたら良いですか？
2	インターンについてのところでも書いたのですが、企業の種類についての知識が乏しいので、目標が漠然としてしまっていることが今1番の問題だと思っています。このことについて相談に乗って頂きたいです。
3	アカデミアと迷っているが、アカデミアの就職支援についてもあるのか知りたい。
4	今のところないです。
5	赤い糸会などで企業とのマッチングが進んだ際に、面接や会社の選択でご相談することが有ると思いますので、宜しくお願い致します。
6	いつもありがとうございます。必要だと感じたらすぐ相談をお願いすると思います。
7	これから就職について調べていく上で疑問が生まれたら質問させていただきたいです。
8	そもそも行きたい業界がなかなか絞れません。 自分の研究が基礎研究寄りなので研究内容をどう企業にアピールするか、それとも研究自体を企業受けがいいように方向づけていくのがいいのか、そのあたりで悩んでいます。
9	ある
10	現在はない